

授業科目名	社会科学 I																										
担当教員	掛川太郎 望月麻里 町塚大介 神戸直弥																										
対象学科	1年制	学期	前期	必修選択区分	必修																						
対象学年	1年	単位時間	80	授業方法	座学																						
授業の目的・狙い	社会科学体系における政治と経済と社会を一般教養知識として学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身に付けることを目的とする。																										
到達目標	<p>【政治】政治の定義を理解した上で国政への関心を高め、日本国憲法を中心として人権の在り方について考えを深める。</p> <p>【経済】金融政策や財政政策について正確な知識を習得し、日本経済や国際経済の動きを理解することができる。</p> <p>【社会】社会学や心理学、現代社会における様々な問題について広く学ぶことで、現代に生きる私たちと社会が抱える課題を理解する。また、それらの課題を踏まえ今後の社会のあるべき姿を考え自らの意見を持つ。</p>																										
授業計画	<p>■政治（全 15 回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5</td> <td>政治制度と日本国憲法</td> </tr> <tr> <td>6～10</td> <td>日本の三権分立と地方自治</td> </tr> <tr> <td>11～15</td> <td>総合演習</td> </tr> </tbody> </table> <p>■経済（全 15 回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5</td> <td>経済社会の変容と経済体制</td> </tr> <tr> <td>6～10</td> <td>金融政策と財政政策</td> </tr> <tr> <td>11～15</td> <td>日本経済と国際経済の動向</td> </tr> </tbody> </table> <p>■社会（全 10 回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5</td> <td>社会理論、労働問題、社会保障</td> </tr> <tr> <td>6～10</td> <td>国際関係、現代の諸相</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 講義回数あたり 2 単位時間</p>					回	内容	1～5	政治制度と日本国憲法	6～10	日本の三権分立と地方自治	11～15	総合演習	回	内容	1～5	経済社会の変容と経済体制	6～10	金融政策と財政政策	11～15	日本経済と国際経済の動向	回	内容	1～5	社会理論、労働問題、社会保障	6～10	国際関係、現代の諸相
回	内容																										
1～5	政治制度と日本国憲法																										
6～10	日本の三権分立と地方自治																										
11～15	総合演習																										
回	内容																										
1～5	経済社会の変容と経済体制																										
6～10	金融政策と財政政策																										
11～15	日本経済と国際経済の動向																										
回	内容																										
1～5	社会理論、労働問題、社会保障																										
6～10	国際関係、現代の諸相																										
テキスト	『テキスト 政治』 『実戦問題集 政治』 『テキスト 経済』 『実戦問題集 経済』 『テキスト 社会』 『実戦問題集 社会』																										
参考書	『スタンダード問題集 社会科学』																										
成績評価の方法・基準	全講義回数の 2/3 以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点（優：80 点以上 良：60 点以上 可：40 点以上 不可：40 点未満）による成績評価を行う。																										
担当教員の実務経験有無	無																										

授業科目名	人文科学 I																				
担当教員	掛川太郎 望月麻里 神戸直弥																				
対象学科	1年制	学期	前期	必修選択区分	必修																
対象学年	1年	単位時間	60	授業方法	座学																
授業の目的・狙い	人文科学における日本史・世界史を一般教養知識として学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身につけることを目的とする。																				
到達目標	<p>【日本史】 日本史上の人物・出来事について時系列順に相関関係を把握し、歴史体系について理解している。</p> <p>【世界史】 世界の歴史の枠組みと流れを理解することで、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察できるようになる。</p>																				
授業計画	<p>■日本史 (全 15 回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5</td> <td>古代</td> </tr> <tr> <td>6～10</td> <td>中世</td> </tr> <tr> <td>11～15</td> <td>近代</td> </tr> </tbody> </table> <p>■世界史 (全 15 回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5</td> <td>中国史</td> </tr> <tr> <td>6～10</td> <td>西洋史 (古代～中世)</td> </tr> <tr> <td>11～15</td> <td>西洋史 (近代～現代)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 講義回数あたり 2 単位時間</p>					回	内容	1～5	古代	6～10	中世	11～15	近代	回	内容	1～5	中国史	6～10	西洋史 (古代～中世)	11～15	西洋史 (近代～現代)
回	内容																				
1～5	古代																				
6～10	中世																				
11～15	近代																				
回	内容																				
1～5	中国史																				
6～10	西洋史 (古代～中世)																				
11～15	西洋史 (近代～現代)																				
テキスト	『テキスト 日本史』『実戦問題集 日本史』 『テキスト 世界史』『実戦問題集 世界史』																				
参考書	『スタンダード問題集 人文科学』																				
成績評価の方法・基準	全講義回数の 2/3 以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点 (優 : 80 点以上 良 : 60 点以上 可 : 40 点以上 不可 : 40 点未満) による成績評価を行う。																				
担当教員の実務経験の有無	無																				

授業科目名	人文科学Ⅱ				
担当教員	掛川太郎 望月麻里				
クラス	1年制	学期	前期	必修選択区分	必修
対象学年	1年	単位時間	20	授業方法	座学
授業の目的・狙い	人文科学における倫理・地理を一般教養知識として学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身につけることを目的とする。				
到達目標	【地理】地形・気候などの自然条件と、そこに展開されている人間生活との関係を理解し、現代世界を正しく認識できるようになる。				
授業計画	■地理(全10回)				
	回	内容			
	1～5	自然環境と地図・資源と産業			
	6～10	生活と地域・日本の地理・世界の国々			
	※1講義回数あたり2単位時間				
テキスト	『テキスト 地理』『実戦問題集 地理』 資格の大原公務員講座 各種答案練習				
参考書	『スタンダード問題集 人文科学』				
成績評価の方法・基準	全講義回数の2/3以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点（優：80点以上 良：60点以上 可：40点以上 不可：40点未満）による成績評価を行う。				
担当教員の実務経験の有無	無				

授業科目名	数学 I																		
担当教員	掛川太郎 望月麻里 町塚大介 神戸直弥																		
対象学科	1年制	学期	前期	必修選択区分	必修														
対象学年	1年	単位時間	50	授業方法	座学														
授業の目的・狙い	数的処理における数的推理の基礎的な知識や解き方を学ぶと共に、目標とする公務員試験の教養試験において問題を解くためのテクニックを身に付けることを目的とする。																		
到達目標	文章題から出題者の意図を理解し要点を抑えた上で立式し、解答を導き出すことができる。																		
授業計画	<p>■数的推理 (全 25 回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～3</td> <td>方程式・不等式</td> </tr> <tr> <td>4～7</td> <td>整数・計算パズル</td> </tr> <tr> <td>8～11</td> <td>割合と比</td> </tr> <tr> <td>12～16</td> <td>速さ</td> </tr> <tr> <td>17～20</td> <td>その他の文章題</td> </tr> <tr> <td>21～25</td> <td>場合の数・確率</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 講義回数あたり 2 単位時間</p>					回	内容	1～3	方程式・不等式	4～7	整数・計算パズル	8～11	割合と比	12～16	速さ	17～20	その他の文章題	21～25	場合の数・確率
回	内容																		
1～3	方程式・不等式																		
4～7	整数・計算パズル																		
8～11	割合と比																		
12～16	速さ																		
17～20	その他の文章題																		
21～25	場合の数・確率																		
テキスト	『数的推理 問題編』 『数的推理 解答編』 『実戦問題集 数的処理 I』 『実戦問題集 数的処理 II』																		
参考書	『スタンダード問題集 数的処理』																		
成績評価の方法・基準	全講義回数の 2/3 以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点（優：80 点以上 良：60 点以上 可：40 点以上 不可：40 点未満）による成績評価を行う。																		
担当教員の実務経験有無	無																		

授業科目名	数学Ⅱ																																		
担当教員名	掛川太郎 望月麻里 町塚大介 神戸直弥																																		
クラス	2年制	学期	通期	必修選択区分	必修																														
対象学年	1年	単位時間	240	授業方法	座学																														
授業の目的・狙い	判断推理・図形を通じて社会人として必要な論理的な思考力、空間把握能力を身につける。また、目標とする公務員試験の教養試験を解くための知識を身につける事を目的とする。																																		
到達目標	<p>【判断推理】</p> <p>出された条件を分析し、効率よく整理できるようになることで論理的思考力を養い、また、整理した情報を活用して解答を導くことができる。</p> <p>【図形】</p> <p>与えられた図や条件等から正しく図形を認識し、軌跡・展開・回転等の空間把握を行う事ができる。</p>																																		
授業計画	<p>■判断推理（全60回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5</td> <td>論理・集合</td> </tr> <tr> <td>6～10</td> <td>順序</td> </tr> <tr> <td>11～15</td> <td>対応</td> </tr> <tr> <td>16～20</td> <td>位置と方位</td> </tr> <tr> <td>21～25</td> <td>勝ち負け</td> </tr> <tr> <td>26～30</td> <td>ウソの発言</td> </tr> <tr> <td>31～35</td> <td>手順</td> </tr> <tr> <td>36～40</td> <td>推理</td> </tr> <tr> <td>41～45</td> <td>暗号</td> </tr> <tr> <td>46～60</td> <td>総合演習</td> </tr> </tbody> </table> <p>■図形（全60回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～25</td> <td>空間把握(回転と軌跡、道順・一筆書き・位相、平面構成、正多面体・展開図、立体構成)</td> </tr> <tr> <td>26～50</td> <td>計量(平面図形の計量、立体図形の計量)</td> </tr> <tr> <td>51～60</td> <td>図形の範囲を含む公務員試験模試の演習</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1講義回数あたり2単位時間</p>					回	内容	1～5	論理・集合	6～10	順序	11～15	対応	16～20	位置と方位	21～25	勝ち負け	26～30	ウソの発言	31～35	手順	36～40	推理	41～45	暗号	46～60	総合演習	回	内容	1～25	空間把握(回転と軌跡、道順・一筆書き・位相、平面構成、正多面体・展開図、立体構成)	26～50	計量(平面図形の計量、立体図形の計量)	51～60	図形の範囲を含む公務員試験模試の演習
回	内容																																		
1～5	論理・集合																																		
6～10	順序																																		
11～15	対応																																		
16～20	位置と方位																																		
21～25	勝ち負け																																		
26～30	ウソの発言																																		
31～35	手順																																		
36～40	推理																																		
41～45	暗号																																		
46～60	総合演習																																		
回	内容																																		
1～25	空間把握(回転と軌跡、道順・一筆書き・位相、平面構成、正多面体・展開図、立体構成)																																		
26～50	計量(平面図形の計量、立体図形の計量)																																		
51～60	図形の範囲を含む公務員試験模試の演習																																		
テキスト	『判断推理【問題編】』『判断推理【解答編】』 『図形・資料解釈【問題編】』『図形・資料解釈【解答編】』 『実戦問題集 数的処理Ⅰ』『実戦問題集 数的処理Ⅱ』																																		
参考書	『スタンダード問題集 数的処理』																																		
成績評価の方法・基準	全講義回数の2/3以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点（優：80点以上 良：60点以上 可：40点以上 不可：40点未満）による成績評価を行う。																																		
担当教員の実務経験の有無	無																																		

授業科目名	言語文化				
担当教員	望月麻里				
対象学科	1年制	学期	前期	必修選択区分	必修
対象学年	1年	単位時間	40	授業方法	座学
授業の目的・狙い	語彙や文法の知識を身につけることにより、筆者の主旨や意図を理解する読解力と、公務員試験で出題される文章問題の客観的な読解力を養う。また、身につけた知識を使い、自身の考えを文章で論述できる能力を養う。				
到達目標	【文章理解】客観的な文章読解力を獲得し、筆者の主旨を読み取ることができる。 【論作文】語彙や文法の知識を付け、制限時間内で簡潔かつ論理的で読みやすい文章を書くことができる。				
授業計画	■文章理解（全5回）				
	回	内容			
	1	文章理解(要旨把握・内容合致)			
	2	文章理解(要旨把握・内容合致)			
	3	文章理解(空欄補充・文章整序)			
	4	文章理解(英文)			
	5	文章理解(演習)			
	■論作文（全15回）				
	回	内容			
	1～5	論作文(書き方・実践・添削) 【過去実施参考】 ・理想の公務員像 ・社会人と学生の違い ・社会人として大切にしたいこと			
6～10	論作文(実践・添削) 【過去実施参考】 ・高齢社会における〇〇の役割 ・あなたの考える市民の幸せとは				
11～15	論作文(実践・添削) 【過去実施参考】 ・失敗から学んだこと ・入庁したら取り組みたいこと ・チームワークに必要なこと				
※1 講義回数あたり2単位時間					
テキスト	『TEXT 文章理解』『TEXT 論作文』				
参考書	『スタンダード問題集 文章理解』『実戦問題集 文章理解』				
成績評価の方法・基準	全講義回数の2/3以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点（優：80点以上 良：60点以上 可：40点以上 不可：40点未満）による成績評価を行う。				
担当教員の実務経験有無	無				

授業科目名	教養演習				
担当教員	掛川太郎 望月麻里 町塚大介 神戸直弥				
対象学科	1年制	学期	通期	必修選択区分	必修
対象学年	1年	単位時間	300	授業方法	座学
授業の目的・狙い	社会人として必要な一般教養知識・協調性・自己管理能力・IT機器の基礎的な取り扱い知識等について演習を通じて学び習得する事を目的とする。				
到達目標	一般教養、社会人基礎力を身に付け、入社1年目から入社2年目レベルの活躍をする人材となる。				
授業計画	<b>■公務員試験答案作成練習（全60回）</b>				
	回	内容			
	1～60	直前模擬試験・実力判定模擬試験・応用力判定模擬試験 Light・Logical など			
	<b>■四検定（全20回）</b>				
	<b>・自己管理能力検定（5回）</b>				
	回	内容			
	1	自己管理能力の大切さ			
	2	「自分流の計画シート」作成			
	3	「トライアングル手帳」の記入方法			
	4	すごく差のつく文章の読み方			
	5	検定試験			
	<b>・協調行動力検定（5回）</b>				
	回	内容			
	1	組織の基本知識			
	2	個人行動センス			
	3	集団行動センス			
	4	グループワーク(クラス目標の決定)			
	5	検定試験			
	<b>・IT活用力検定（5回）</b>				
	回	内容			
1	iPad セットアップ				
2	iPad 基本操作①				
3	iPad 基本操作②				
4	IT リテラシー				
5	検定試験				
<b>・海外行動力検定（5回）</b>					
回	内容				
1	国際地理の知識				
2	国際視野の知識				
3	海外行動の知識				
4	基本的英会話				
5	検定試験				

	<p>■定期試験（全 10 回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～10</td> <td>前期中間考査・前期期末考査・後期中間考査・後期期末考査など</td> </tr> </tbody> </table> <p>■人物試験（全 60 回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～20</td> <td>自己分析・プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>21～30</td> <td>志望動機・希望業務・自己 PR の作成</td> </tr> <tr> <td>31～60</td> <td>面接練習</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 講義回数あたり 2 単位時間</p>	回	内容	1～10	前期中間考査・前期期末考査・後期中間考査・後期期末考査など	回	内容	1～20	自己分析・プレゼンテーション	21～30	志望動機・希望業務・自己 PR の作成	31～60	面接練習
回	内容												
1～10	前期中間考査・前期期末考査・後期中間考査・後期期末考査など												
回	内容												
1～20	自己分析・プレゼンテーション												
21～30	志望動機・希望業務・自己 PR の作成												
31～60	面接練習												
テキスト	<p>学校法人名古屋大原学園</p> <p>「自己管理能力検定テキスト」</p> <p>「協調行動力検定テキスト」</p> <p>「IT 活用力検定テキスト」</p> <p>「海外行動力検定テキスト」</p> <p>資格の大原公務員講座 各種答案練習</p>												
参考書	特に無し												
成績評価の方法・基準	全講義回数の 2/3 以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点（優：80 点以上 良：60 点以上 可：40 点以上 不可：40 点未満）による成績評価を行う。												
担当教員の実務経験有無	無												

授業科目名	ビジネス演習				
担当教員	掛川太郎 望月麻里 町塚大介 神戸直弥				
対象学科	1年制	学期	後期	必修選択区分	必修
対象学年	1年	単位時間	290	授業方法	座学・実習
授業の目的・狙い	ビジネスマンとして必要なプレゼンテーション能力・パソコンスキル・ビジネスマナー等の社会人基礎力を身に着ける。				
到達目標	上記能力を兼ね備えた職場で活躍出来るビジネスマンとなる。				
授業計画	<b>■日商簿記3級/危険物取扱者乙種4類(全50回)※選択制</b>				
	回	内容			
	1～5	簿: 簿記の目的、一巡の流れ 乙: 法令			
	6～10	簿: 商品売買 乙: 法令			
	11～15	簿: 売上原価の算定 乙: 物理・化学			
	16～20	簿: 精算表・利益の会計処理 乙: 物理・化学			
	21～25	簿: 諸資産、諸負債の会計処理 乙: 性質			
	26～30	簿: 諸費用、諸収益の会計処理 乙: 性質			
	31～35	簿: 決算整理 乙: 問題演習			
	36～40	簿: 財務諸表 乙: 問題演習			
	41～45	簿: 消費税、法人税、その他の税金 乙: 問題演習			
	46～50	簿: 主要簿、補助簿、伝票 乙: 問題演習			
	<b>■面接(全35回)</b>				
	回	内容			
	1～35	模擬面接			
	<b>■Excel(全30回)</b>				
	回	内容			
	1～5	Excel 操作			
	6～10	タイピング操作			
	11～15	Excel 操作			
	16～20	タイピング操作			
	21～25	Excel 操作			
	26～30	演習・検定試験			
	<b>■Pre Career Program(全30回)</b>				
	回	内容			
	1～5	職場のマナー			

	6～10	挨拶と敬語
	11～15	電話対応
	16～20	接遇マナー
	21～25	電話対応演習
	26～30	電話対応効果測定
	※1 講義回数あたり2単位時間	
テキスト	大原簿記学校 ALFA3 シリーズ (テキスト・問題集・解答解説) テキスト PCP	
参考書	特に無し	
成績評価の方法・基準	全講義回数の2/3以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点 (優: 80点以上 良: 60点以上 可: 40点以上 不可: 40点未満) による成績評価を行う。	
担当教員の実務経験有無	無	

1 授業科目名	公共政策								
担当教員	掛川太郎 望月麻里 町塚大介 神戸直弥								
対象学科	1年制	学期	前期	必修選択区分	必修				
対象学年	1年	単位時間	20	授業方法	座学・実習				
授業の目的・狙い	公務員志望者として必要な公務に関する知識を取得すると共に、行政研究を行い行政が抱える課題の認識と解決策を探る。								
到達目標	理想的な公務員志望者としての公務に関する知識を取得し、活用する事が出来る。								
授業計画	<b>■行政研究(全10回)</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1～10</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職種研究</li> <li>・業務研究</li> <li>・自治体研究</li> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・官庁説明会</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					回	内容	1～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種研究</li> <li>・業務研究</li> <li>・自治体研究</li> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・官庁説明会</li> </ul>
	回	内容							
1～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種研究</li> <li>・業務研究</li> <li>・自治体研究</li> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・官庁説明会</li> </ul>								
※1 講義回数あたり2単位時間									
テキスト	特に無し								
参考書	特に無し								
成績評価の方法・基準	全講義回数の2/3以上の出席を受験資格とした、各科目試験結果の平均点（優：80点以上 良：60点以上 可：40点以上 不可：40点未満）による成績評価を行う。								
担当教員の実務経験有無	無								